



学術論文の 今とこれからを考える

井出和希 特任准教授
(大阪大学)

【日時】 2022年5月30日（月） 16時～17時

【言語】 日本語

【形式】 ハイブリッド オンライン+分子科学研究所研究棟301
(愛知県岡崎市明大寺町字西郷中38)

【参加申込】 <https://urlzs.com/a5vAb>

講演抄録

学術論文は、情報技術の発展と共に多様さを増した。購読（サブスクリプション）型からオープンアクセス型への移行が年々進行し、査読を受ける前の原稿（プレプリント）の公開も広がりつつある。

このような動向とインターネットの普及が相まって、情報へのアクセスも容易になった。それに伴い、研究の段階やその質を問わず、「研究成果」が社会に対して及ぼす影響も無視できないものとなっている。本セミナーでは、新型コロナウイルス感染症を題材に、学術論文を中心とした情報と社会との関りについて事例を交えて考えたい。参加者の方々との情報交換も通して、互いに知見を深める場となることを期待している。